

佳作

おじいちゃんありがとう

鹿児島県
始良市立建昌小学校一年

西 花葉

ラジオたいそうのかえりに、おじいちゃんのはたけをみにいきました。ともだちのりんかちゃんが、

「トマトがまつかにうれてるよ。」

といました。おかあさんたちとみんなで、ひとつずつちぎってたべてみました。

「あまくておいしいね。」

と、みんながいました。わたしは、ほんとうは、あんまりトマトはすきじゃないけれど、とってもおいしいとおもいました。

わたしのうでのふとさとおなじくらいいきゅうりやげんこつみたいなピーマンがありました。きれいなむらさきいろのなすびもたくさんありました。どのやさいもせんぶ、げんきもりもりにみえました。

「おじいちゃんのやさいは、やさしいやさいなんだよ。」

と、おねえちゃんがいました。

「やさしいやさいってなんだろう。」

と、わたしは、おもいました。するとおねえちゃんが、「アトビーのはるなに、おくすりをつかっていないやさいをたべさせたくて、おじいちゃんがやさいづくりをほじ

めたからだよ。」

とおしえてくれました。やさいづくりをしたことがなかったおじいちゃんは、いっぱいべんきょうをして、アトビーのわたしのため、かぞくみんなのために、げんきなやさいをつくりはじめたそうです。とてもびっくりしました。そして、すぐくうれしくなりました。

「おじいちゃんのやさしいところがいっぱいまっているから、やさしいやさいなんだなあ。」

わたしは、ひとりでにこにこしてしまいました。おかあさんが、

「いつもありがとうっておもいながらたべようね。」といました。みんなにつこりしました。

わたしも、ちよつときらいなやさいもあるけど、これからは、のこさないでしっかりたべようとおもいました。

きつとおじいちゃんのやさしいやさいをたべると、からだもげんきになるし、こころもげんきで、やさしくなれるとおもいます。

おじいちゃん、おいしくて、やさしいおやさいをつくってくれて、ほんとうにありがとう。